









この度は、当社の商品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。

ご購入いただきました商品を末永く安全にお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みいただき、必要に応じていつでもご確認できますように大切に保管して下さい。



商品の置き方

-  高温多湿の部屋での使用は避けてください。空気が滞留するとカビやダニの発生の原因になります。
-  商品は床面の平らな場所に水平になるように置いてください。水平でないところに置くと、商品の変形やゆがみ、ガタツキの原因になることがあります。
-  床面がフローリングや畳などの場合は、床面のキズ防止のために敷物などを引いて使用してください。
-  直射日光や熱、冷暖房機の強風などが直接あたらないようにしてください。商品の変色・変形などの原因となる場合があります。
-  移動の際は、乗せているものをおろし、必ず持ちあげて移動してください。引きずりますと、商品や床にキズをつける恐れがあります。




使用上の注意

-  天板の端に重いモノを乗せたり、荷重をかけないでください。バランスを崩し、転倒などの原因となる場合があります。
-  商品の上に立ったり飛んだり、踏み台の代わりに使ったり腰かけたりしないでください。安定を崩し倒れてケガをすることがあります。
-  商品の上に灰皿や食器など、底のざらついた物を直接置いて引きずったりしないでください。商品が傷つく恐れがあります。

お手入れ方法

-  普段のお手入れは、はたきなどでホコリを落とした後、柔らかい布で乾拭きをしてください。
-  汚れのひどい時は、3~5%に薄めた中性洗剤を含ませた布で汚れを落とし、その後水に浸した布で洗剤分をよく拭き取ってください。次に乾いた布で、軽く拭いた後、自然乾燥させてください。

保守・点検

-  一週間ほどすると、固定したネジがなじんで参ります。さらに半分ほど締めつけの余裕が出てきますので、増し締めを行ってください。
-  お客様による修理、及び改造はしないでください。商品の強度を弱め、破損やケガの原因となる場合があります。
-  棚は揺れが無いのか時々点検をしてください。グラつきが出ていたら、ネジをしっかり締め付けてください。

耐荷重について

-  耐荷重は1棚につき10kgまでです。

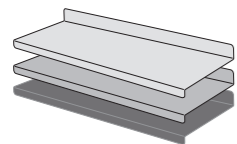
収納棚の品質表示

寸法	W800 x D350 x H723 mm
材質	スチール
表面加工	エポキシ粉体塗装
取り扱い上の注意	直射日光やストーブ等の熱を避けてください。
原産国	台湾
表示社	株式会社 マークスインターナショナル 東京都渋谷区恵比寿西2-21-1

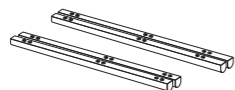
Components 部材一覧

組み立てに入る前に、梱包物が揃っているかご確認ください。部材やパーツが不足していると、安全に組立ができません。必ずお確かめください。

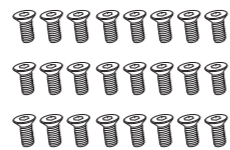
※部材はスチールの無垢を使っています。大変重いので、組立の際は足の上などに落とさないように、十分注意して必ず二人以上で組立を行ってください。



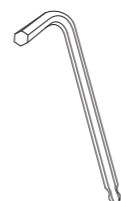
棚板 3



支柱(長・短)各2



ネジ 24

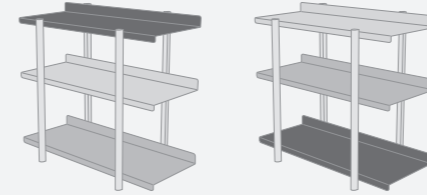


六角レンチ 1

Joint 組立方法

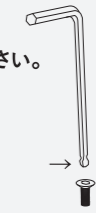
組み立ては、床に寝かせた状態で行なって下さい。硬い床の上で行なうと、床を傷つけたり、本体の塗料が剥がれる原因になりますので、柔らかい布またはカーペットの上で作業を行なって下さい。

棚板は共通の仕様になっていますので、カラーはお好みで設置できます。組立の前に、それぞれの棚のカラー位置を決めてください。



仮留め

最初は、レンチの長いほうの先端で、ネジを回して行ってください。



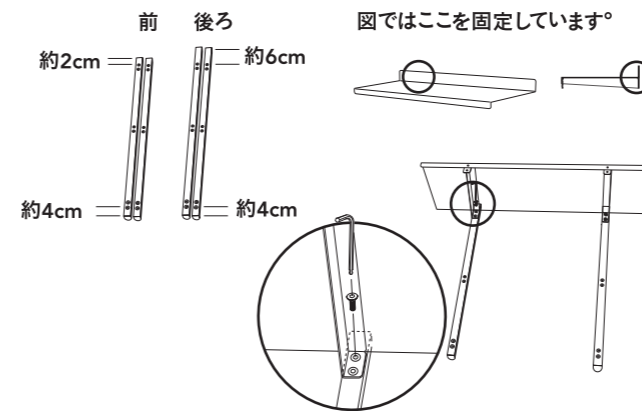
本締め

最後に、短い方を差し込んで強く締め込んでください。

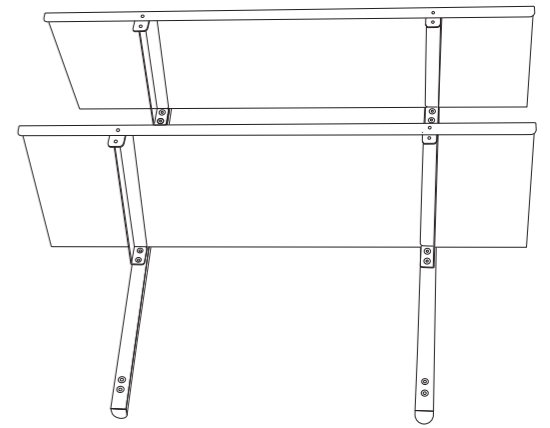


- 1** 後ろの支柱と、棚板を仮締めします。一番上の棚板をまず仮締めしてください。

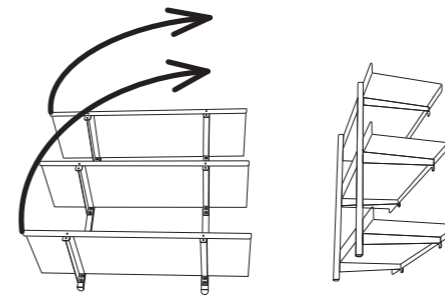
【注意】長い方の支柱は、棚の後ろ側にきます。



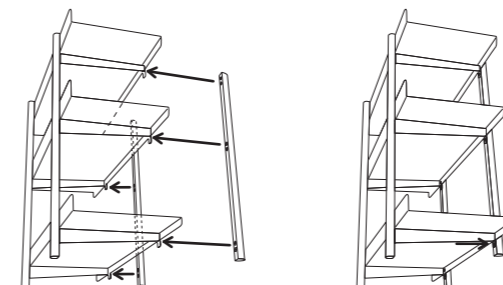
- 2** 左右の支柱に棚板を仮締めしたら、次の棚板も仮締めして行ってください。



- 3** 4枚の棚板を仮締めし終わったら、棚全体を横に立てて前の支柱を取り付けます。



棚を横に立てた状態で前の支柱を1番の要領で、六角レンチの長い方を使ってネジを本締めしてください。



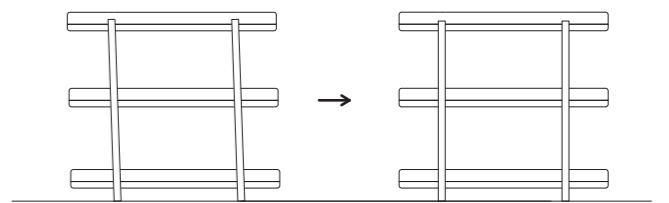
- 4** すべてのネジで棚板の仮締めが終わったら棚を立て、支柱が真っ直ぐになった状態にし、その状態でそれぞれのネジを本締めして行ってください。

本締め

最後に、短い方を差し込んで強く締め込んでください。



歪みを直して、真っ直ぐにする



Marge Shelf 4 / 4 SHELVES

Produced by **DUENDE**®

この度は、当社の商品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。

ご購入いただきました商品を末永く安全にお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みいただき、必要に応じていつでもご確認できますように大切に保管して下さい。

商品の置き方

- 高温多湿の部屋での使用は避けてください。空気が滞留するとカビやダニの発生の原因になります。
- 商品は床面の平らな場所に水平になるように置いてください。水平でないところに置くと、商品の変形やゆがみ、ガタツキの原因になることがあります。
- 床面がフローリングや畳などの場合は、床面のキズ防止のために敷物などを引いて使用してください。
- 直射日光や熱、冷暖房機の強風などが直接あたらないようにしてください。商品の変色・変形などの原因となることがあります。
- 移動の際は、乗せているものをおろし、必ず持ちあげて移動してください。引きずりますと、商品や床にキズをつける恐れがあります。

使用上の注意

- 天板の端に重いモノを乗せたり、荷重をかけないでください。バランスを崩し、転倒などの原因となることがあります。
- 商品の上に立ったり飛んだり、踏み台の代わりに使ったり腰かけたりしないでください。安定を崩し倒れてケガをする事があります。
- 商品の上に灰皿や食器など、底のざらついた物を直接置いて引きずったりしないでください。商品が傷つく恐れがあります。

お手入れ方法

- 普段のお手入れは、はたきなどでホコリを落とした後、柔らかい布で乾拭きをしてください。
- 汚れのひどい時は、3~5%に薄めた中性洗剤を含ませた布で汚れを落とし、その後水に浸した布で洗剤分をよく拭き取ってください。次に乾いた布で、軽く拭いた後、自然乾燥させてください。

保守・点検

- 一週間ほどすると、固定したネジがなじんで参ります。さらに半分ほど締めつけの余裕が出てきますので、増し締めを行ってください。
- お客様による修理、及び改造はしないでください。商品の強度を弱め、破損やケガの原因となることがあります。
- 棚は揺れが無い時々点検をしてください。グラつきが出ていたら、ネジをしっかり締め付けてください。

耐荷重について

- 耐荷重は1棚につき10kgまでです。

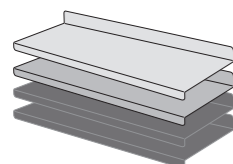
収納棚の品質表示

寸法	W800 x D350 x H946 mm
材質	スチール
表面加工	エポキシ粉体塗装
取り扱い上の注意	直射日光やストーブ等の熱を避けてください。
原産国	台湾
表示社	株式会社マークスインターナショナル 東京都渋谷区恵比寿西2-21-1

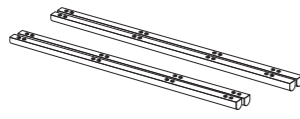
Components 部材一覧

組み立てに入る前に、梱包物が揃っているかご確認ください。部材やパーツが不足していると、安全に組立ができません。必ずお確かめください。

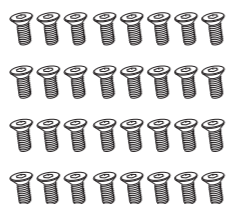
※部材はスチールの無垢を使っています。大変重いので、組立の際は足の上などに落とさないように、十分注意して必ず二人以上で組立を行ってください。



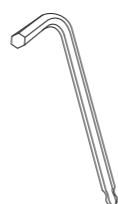
棚板 4



支柱(長・短)各2



ネジ 32

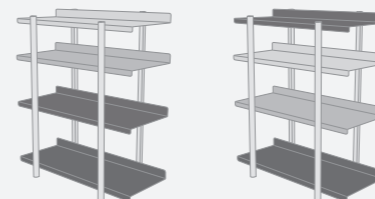


六角レンチ 1

Joint 組立方法

組み立ては、床に寝かせた状態で行なって下さい。硬い床の上で行なうと、床を傷つけたり、本体の塗料が剥がれる原因になりますので、柔らかい布またはカーペットの上で作業を行なって下さい。

棚板は共通の仕様になっていますので、カラーはお好みで設置できます。組立の前に、それぞれの棚のカラー位置を決めてください。



仮留め

最初は、レンチの長いほうの先端で、ネジを回して行ってください。

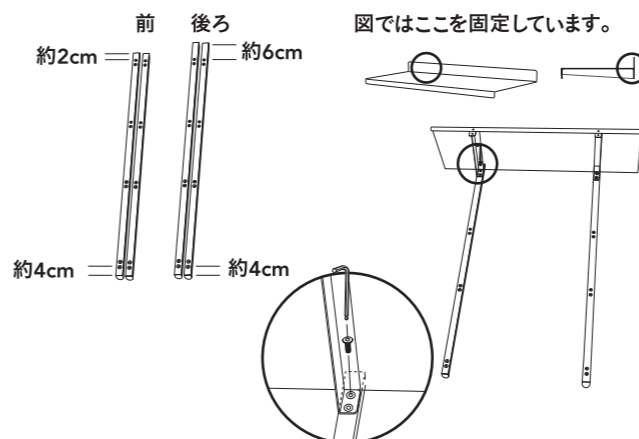
本締め

最後に、短い方を差し込んで強く締め込んでください。

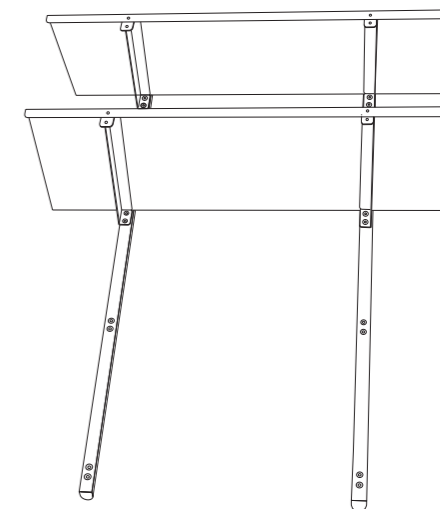


- 1 後ろの支柱と、棚板を仮締めします。一番上の棚板をまず仮締めしてください。

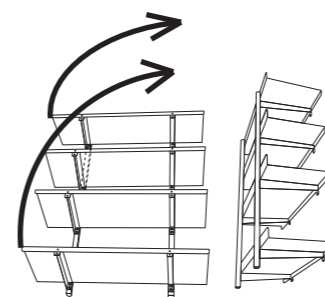
【注意】長い方の支柱は、棚の後ろ側にきます。



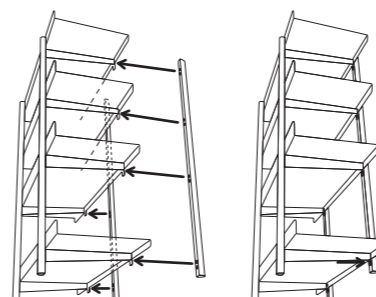
- 2 左右の支柱に棚板を仮締めしたら、次の棚板も仮締めして行ってください。



- 3 4枚の棚板を仮締めし終わったら、棚全体を横に立てて前の支柱を取り付けます。



棚を横に立てた状態で前の支柱を1番の要領で、六角レンチの長い方を使ってネジを本締めしてください。



- 4 すべてのネジで棚板の仮締めが終わったら棚を立て、支柱が真っ直ぐになった状態にし、その状態でそれぞれのネジを本締めして行ってください。

本締め

最後に、短い方を差し込んで強く締め込んでください。



歪みを直して、真っ直ぐにする

